

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価の調査項目です)

取り組んでいきたい項目

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	街の中心に位置し、スーパーや公園も近くにあるという利便性を活かし、地域で元気に過ごしていただきたいという思いから「元気に過ごす住まい」という理念を掲げている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ユニットリーダーを選出し、各ユニットで理念についての捉え方など十分に話し合い、理念を実践するための目標をたてた。目標を達成することで、理念が実践できるよう日々のケアに取り組んでいる。		毎日の申し送りで理念や各ユニット目標を復唱し、職員の意識向上に努めたい。 各ユニットで目標に対する振り返りを行っていく。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居時には必ず理念についての説明を行っている。じゅらくだい新聞にも理念を載せたり、家族会ではご家族に各ユニットの目標についても説明を行い理解を得られるよう努めている。 地域の方への理念の浸透は不十分であると思われる。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の老人会の方よりお野菜を頂いたり、行事に招かれたり、こちらからお誘いしたりする関係を持たせていただいているが、日々日常のお付き合いまではできていない。		利用者さまと共に、隣近所への挨拶まわりに行き、関係を築いていきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し回覧板やゴミ当番なども参加させていただいている。老人会の集まりや地域での催し物にもお声をかけて頂き参加させていただいている。 こちらからの積極的な交流は出来ていない。		地域の方を招待できるような行事を行っていきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	障害者の方の職場体験を受け入れている。		災害時などの避難場所としても活用していただけるように考えていきたい。 学生の職場体験なども受け入れていきたい。 地域で貢献できることを具体的に話し合い、取り組んでいきたい。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の目的を職員へ説明を行い、自己評価表に関しては全職員で取り組みを行った。改善計画シートを活用しなかったため計画的ではなかったが、課題について改善に取り組んでいった。		改善計画シートを活用し、次の課題に向けて取り組んでいきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回必ず実施しており、ホームの活動状況等の報告を行い、意見交換をさせていただいている。 会議の議事録は欠席されたご家族の方にも送付するようにしている。		ご家族の参加も増えるように取り組んでいきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホーム内の課題や問題など随時相談を行っている。 ユニットリーダーの選出にあたって相談を行いながら支援していただいた。		会議以外で行き来する機会を検討していきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修に参加したり、報告を行うことで全職員の理解を深めている。 ホームにパンフレットを設置している。		継続して勉強会への参加を行っていきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関する勉強会を行ったり、入職時にも説明を行っている。 職員とも情報交換を行いながら虐待の防止に努めている。 そのような状況を見つけた場合には速やかに報告をしていただくように日ごろから注意を払い、防止に努めている。		継続してホーム内でも勉強会を行っていきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項や契約書に関しては十分に説明を行っている。利用者やご家族の不安がないように疑問点に関してもその都度説明を行い、安心して入居していただけるよう努めている。		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の不満や苦情の早期発見に努め、意見があった場合にはその都度話し合いを行い、改善に努めている。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族の面会時には、最近の状況について報告を行うように心掛けており、また暮らしぶりについても文書にして毎月郵送している。 健康状態に変化がある場合にはその都度連絡を行っている。職員の異動等もじゅらくだい新聞や会議などで、報告を行っている。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時に苦情相談窓口と公的機関がある旨をお伝えしている。1Fには意見箱を設置し、苦情窓口・第三者の相談窓口の連絡先を掲示している。家族会や会議でも意見を聞く機会を設けている。 ご家族の面会時にはできるだけお話を伺うようにしている。アンケートはまだ実施していない。		意見や要望に関するアンケートを定期的実施していきたい。
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や申し送りの際に職員の意見や提案が聞けるように心掛けている。		個別の面談や会議で積極的に意見が出せるような関係作りに努めていきたい。
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況に応じて人員の確保を行い、柔軟な対応ができるように努めている。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者との馴染みの関係が築けるよう、できるだけユニットで職員を固定し異動はほとんど実施していない。必要な場合は利用者への影響が最小限となるよう努めている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用において性別や年齢を理由に排除することはなく、本人の思いや介護への熱意などを考慮している。		
20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	ホームでの勉強会で人権について学ぶ機会を設け、職員の意識を高める取り組みを行っている。		今後も継続して勉強会を行っていききたい。
21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や職員を段階的に育成するための計画はたてていない。 事業所内・外で勉強会や研修に参加し、スタッフ間で共有している。現在は月1回ほどのペースで認知症や介護に関する勉強や実習を行っている。新入職員マニュアルを作成し、教育を行っているがまだ不十分である。		職員を育てる取り組みを積極的に行っていく必要がある。 研修報告が書面にて終わってしまうことがあり、今後会議などを利用し、研修報告ができるように努めていきたい。
22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のグループホーム部会に参加させて頂き、取り組みや活動など意見交換させていただいている。 他のグループホームを訪問させていただき、情報交換をおこなったり、研修に声をかけていただくこともある。		今後も継続して交流する機会をもてるように取り組んでいきたい。
23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩室があるため、職員間でもお互いに声をかけあっていただき休憩時間の確保に努めているが、その他ストレス軽減に向けた取り組みは具体的には行っていない。		運営者による個人面談を行うなどし、ストレス軽減に向けた取り組みを行っていく必要がある。 ストレスケアに関する研修への参加を行っていききたい。
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	現在資格取得に関しての支援は行っていない。		職員が向上心を持って働けるような取り組みを行っていく必要がある。 積極的に研修などへ参加を行っていききたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人と会う機会を設けさせていただき、不安がないよう十分にお話を聞かせていただいている。出来ることは柔軟に対応できるようにしている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の思いもゆっくりと聴く機会を設け、不安なことなどは遠慮なく言っていただくよう努めている。納得が得られるまで十分に説明を行っていくように努めている。要望があれば、出来るだけ対応できるように心掛けている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況に応じて、他のサービスのご提案をさせていただいている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	基本的にはご本人にホームを見に来て頂き、納得した上で利用していただくようお話をさせていただいている。日帰りや宿泊の体験入居を提案させていただいている。ご家族の協力も得ながら少しずつ慣れていただくように心掛けている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に掃除や洗濯・料理などを一緒に行っていくことで、色々なことを学ばせていただいている。家族であるという思いで喜怒哀楽を共にし、信頼関係が築いていけるように心掛けている。		
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との関わりも積極的に持つように心掛けている。こちらからご相談をさせていただいたり、ご家族からの要望にはできるだけお応えできるように努め共に支えていくという関係を心掛けている。面会の際には近況の報告を行っている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者ご家族の関係や生活歴を十分に把握することに努めている。日頃の様子についてもお手紙で報告をさせていただいている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの方などが来られた時は、ゆっくりと過ごしていただくように配慮している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の人間関係を把握し、席の配置なども考慮し、人間関係でのトラブルがないよう又孤立しないように努めている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスが終了しても、何かある場合には遠慮なく相談していただくようにお伝えしている。状況に応じて、必要な場合にはお電話をさせていただいたり関係が保てるように努めている。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との関わりのなかで、どういう暮らしを望んでおられるのか・思いを理解しようと努めている。ご家族や関係者からお話を聞かせていただいている。		利用者の思いや意向を、受け持ちの職員が一番把握できるような関係作りに取り組んでいきたい。
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やご本人から昔の話を伺ったりし、暮らしの把握に努めている。センター方式を利用している。		職員によるアセスメントを行い生活歴の把握に努めていきたい。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	センター方式を利用しご本人の出来ること出来ないことを理解し、現在の状況の把握に努めている。日々の申し送りで利用者の状態の把握に努めている。 職員で受け持ちを決め、利用者が一番理解できるような関係作りに取り組んでいる。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族やご本人の要望や意見が計画に反映されるように努めている。職員の担当する利用者の目標作成まではできていない。		受け持ちの職員やご家族とも十分に話し合いを行いながら作成していきたい。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化に応じて見直しは行っているものの、ご家族との十分な話し合いは出来ていない。 月1回のモニタリングを実施しているがご家族や関係者との十分な話し合いは出来ていない。		定期的な見直しや状態の把握を受け持ちの職員やご家族と共に行っていきたい。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践は個人記録に記入しているが、気づきや工夫までの記入は徹底できていない。 記録に関する勉強会は行い、理解を深めている。 現在様式や内容について検討中である。		介護計画に沿った記録を充実させていき、モニタリングに活かしていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況に応じ、急な外泊外出、通院などにも柔軟に対応している。隣接している医院と連携をとり、状態の変化などには速やかに対応している。医師・看護師とのオンコール体制をとっている。希望に応じて理美容サービスを利用したり、意向に応じて鍼灸院の先生によるマッサージも受けていただいている。月1～2回のペースで訪問歯科にも来て頂いている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員の方には会議にも参加していただいている。 ボランティアで地域の方に来て頂き、出し物を披露していただいたり、創作活動(雛人形作り)の支援などでもご協力いただいている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他の事業所やケアマネジャーの方と連携をとってのサービス利用は行っていない。		必要時には支援を行っていきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	状況に応じては、包括支援センターとの連携を図っていくが、現在積極的な取り組みは行っていない。 ホームの活動報告・入居状況については定期的に報告を行っている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に関しては、ご本人や家族の希望を尊重し継続した治療が受けられるよう配慮している。 また隣接している医院でも安心した医療が受けられるように支援を行っている。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に関する相談や治療は隣接する医院の先生に行っている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ホームに看護職員を配置しており、日常の健康管理を行っている。		
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した場合は、できるだけ訪問し病院関係者から情報を得るように努めている。ご家族からもお話を伺い、状況が許せば早期に退院できるように努めている。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化対応指針のついて、入居時に説明を行い同意を得ている。 急変時の対応についてもご家族に説明を行い同意を得ている。 職員間での終末期に向けた方針の共有は徹底できていない。		職員間で重度化や終末期に向けた方針について共有を図っていきたい。
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化した利用者がこれからどのように暮らしていくか、かかりつけ医とも連携をとりながら、ご家族と相談し方針を決めている。		チームでの支援がスムーズにいくよう、職員の勉強会や研修への参加も検討していきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替え時には職員間でも話し合いを行い、ご家族に情報の提供を行っている。口頭や文書でも情報提供し、記録にも残すようにしている。 また他事業所の方とも連携をとり、住み替えによるダメージが防げるよう協力している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者へ行ってはいけない対応などは紙に書いて職員が常に見える場所に貼っている。		利用者への言葉かけや職員間での言葉遣いなど接遇にも取り組んでいきたい。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者に応じた自立支援を心掛け、利用者が選択・決定できるような関わりを持てるように心掛けている。 朝食の付け合せなどは利用者のアンケートを取ったりしている。		利用者への働きかけに対する職員の意識を高めていきたい。
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者主体のケアが提供できるように心掛けている。利用者の希望には出来るだけすぐに対応していくよう努めている。		業務のあり方も常に見直していくことが必要である。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望の理容・美容室があれば行けるように支援している。 買い物に出かけ、衣類を選んで購入したりとおしゃれがたのしめるように支援している。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	米とぎや配膳下膳、食器洗いなどは状況に応じて利用者と共にやっている。利用者と職員と一緒に食卓につくようにしている。一定期間、食事を写真に残し見た目や量などについて、職員間で話し合い、改善に努めている。行事の中で、クッキングとして献立から調理までを利用者と共に行った。		利用者と共に献立を決めたり、調理をしたりする機会を増やしていきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご本人が望む嗜好品を把握し、柔軟に対応している。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を記入し、個人個人の排泄パターンを把握している。トイレでの排泄ができるように状態に応じて誘導を行い支援している。清潔に努めている。		夜間にオムツを使用している方でも、希望に応じてできるだけトイレへの誘導を行っている。
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に曜日や時間帯を決めさせていただいているが、希望に応じて柔軟に対応している。利用者の希望時には同性の職員で対応するなどの対応も行っている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間の睡眠の状況を把握し、十分な睡眠がとれるよう日中の活動なども考慮し支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のかたに応じて何かしらの役割を持っていただけるような関わりを心掛けている。掃除や、食器洗い、洗濯干しや洗濯たたみ、お茶の準備など一緒に行っていくように心掛けている。		受け持ちを中心に利用者の生活歴の把握を十分に行っていきたい。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者のかたによっては、ご自分でお金を管理されておられ、自由に使えるよう支援している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望がある場合には外出できるよう柔軟に支援している。天候に応じてこちらからも外出の提案をさせていただき散歩や買い物などの支援を行っている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間行事の中に組み込み、支援を行っている。		ご家族と共に外出ができる機会も今後検討して行きたい。
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいという希望時には自由にかけさせていただくように支援している。 手紙が届いた場合には本人にお渡しし、読んでいただいている。		利用者の希望に応じながら年賀状などのやりとりができるような支援を行って行きたい。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の設定はあるものの時間外でも柔軟に対応している。 ご家族のかたの希望に応じて居室にお泊りしていただくこともある。 面会時にはお茶をお出ししたりしてゆっくり過ごしていただけるよう配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入職時には身体拘束の具体的な行為について説明を行っている。職員が見れる場所に置いている。		継続して身体拘束についての勉強会や外での研修などに参加し、理解を深めていきたい。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各ユニットでは施錠しておらず、自由に行き来できるようにしている。 ホームの立地を考慮し、話し合いを持った結果1階の出入り口に関しては外からは自由に入れるが内側からは鍵がかかるようにしている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に職員はリビングで利用者と共に過ごし、様子を把握している。 状況に応じて、居室にセンサーを置かせていただき安全への配慮を行っている。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の方に応じて、必要なものは居室で保管していただいている。異食などが見られる場合は、目の前においてはいけないものなど配慮している。 薬は別に保管を行っている。 毎朝の環境整備の際に転倒などの危険がないか居室の整理を行っている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットや事故報告書を記入し、情報交換を行っている。リスクマネジメントの勉強会を行ったが、継続はできていない。		報告書に対して、職員間での話し合いを持っていない。リスクマネジメントに関しての勉強会を定期的を実施し、事故防止への意識を高めていきたい。
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ホーム内で心肺蘇生法の実習を行ったり、消防署での講義に参加させていただき理解を深めている。急変時の対応マニュアルはあるが、定期的な見直しは出来ていない。吸引機の使用方法は勉強会のなかで話したり随時説明を行っている。		急変時マニュアルの再確認と職員間での共有を図りたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を行っているが年2回の実施ができていない。		地域の方を交えた避難訓練を行っていきたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者の状態に応じて、または変化があった場合はその起こりえるリスクについて説明を行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の健康チェックで体調の把握を行っている。変化に気付いたときは、必要時先生へ報告を行い速やかに対応できるよう心掛けている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬情に必ず目をとおすようにし、利用者の飲まれている薬について把握するようにしている。受診ノートを作成し、薬の変更や中止なども把握できるようにしている。薬はこちらで管理しているため、誤薬がないよう必ず職員間で確認を行うようにしている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表に記入し、利用者の排泄の習慣や飲水量を把握している。便秘時には水分補給やゼリーを食べて頂いたりとその方に合わせた支援を行っている。		薬だけでなく、飲食物の工夫も行っていきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯科医師・歯科衛生士の方に定期的に来て頂いている。一人ひとりの口腔内の状態・支援の方法を理解し、その方に合ったケアを行っている。 歯科医師・衛生士の方より、職員に対しての勉強会を行っていただき理解を深めている。		利用者に応じた口腔ケアが提供できるよう継続して勉強会を行っていきたい。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・飲水量を記録に残し、きちんと把握している。 職員は水分補給を十分心掛けており、ゼリーを作ったり、利用者の好みに応じながら支援を行っている。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成している。 必要時に感染症に関する勉強会を行っている。 新型インフルエンザ流行のため手洗い・うがいの励行を行っている。 毎朝の環境整備の際には消毒薬を使用している。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎食後に台所の掃除を行い、衛生管理に努めている。 調理用具も毎日消毒を行っている。 定期的に冷蔵庫の中のチェックを行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	意見箱や掲示板は設置しているが、玄関周りの改善は徹底出来ていない。		分かりやすく入りやすい玄関周りの工夫をしていきたい。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは季節に応じた飾りつけや行事の写真を貼るなどし、工夫をしている。 においにも気をつけ毎日掃除を行い、気持ちよく過ごしていただけるよう心掛けている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中におひとりになれる場所はないものの、ソファや椅子を配置し好きなように過ごしていただけるよう心掛けている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご本人が使い慣れたものや好まれるものを持ってきていただくようにご家族にお伝えしている。 ご自宅から持ってきた椅子やベッドなどを配置し、本人が居心地の良いような空間作りに心掛けている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	湿度・温度計を設置し、室温調節に配慮している。 定期的に換気を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホームの居室や入り口に段差はない。リビング周りには手すりがあり、手すりを使用し安全に移動ができるようになっている。 浴室やトイレにも手すりを設置しており、できるだけ自立した生活が送れるよう配慮している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者のできる力やわかる力を理解し、できるだけ本人の意思決定ができるような関わりを心掛けている。 トイレや浴室が分かりやすいよう表示し、居室の入り口には表札を掲げご自分の部屋が分かるようにしている。		受け持ちによる十分なアセスメントを行い、利用者の状態の把握に努めていきたい。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	現在は野菜やお花の栽培は行っていない。		利用者がくつろげるような休憩スペースを作っていきたい。

番号	項目	取り組みの成果 (該当する番号欄に 印をつけること)	
. サービスの成果に関する項目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない

番号	項 目	取 り 組 み の 成 果 (該 当 す る 番 号 欄 に 印 を つ け る こ と)	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	数日に1回程度
		<input type="checkbox"/>	たまに
		<input type="checkbox"/>	ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	全くいない
100	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどできていない